

平成28年4月20日
九州地方整備局**大型浚渫兼油回収船「清龍丸」による被災地への支援物資輸送を実施**

4月20日大型浚渫兼油回収船「清龍丸」が大分港に入港後、支援物資を荷下ろしし、被災地に搬入しました。

18日(月)に名古屋港を出航し、熊本方面へ向かっていた大型浚渫兼油回収船「清龍丸(せいりゅうまる)」は、支援物資を被災地へいち早く届けるため、行き先を変更し、20日(水)朝7時20分、大分港に入港しました。

荷下ろしされた飲料水、食料などの支援物資については、被災地の要請を受けた九州地方整備局が、災害協定を締結している一般社団法人日本埋立浚渫協会の協力を得て、20日(水)の午後、南阿蘇村、高森町に搬入しました。



大型浚渫兼油回収船
清龍丸(せいりゅうまる)
＜中部地方整備局所管＞

総トン数：4,792トン
全長：104.00m
全幅：17.40m

＜問い合わせ先＞

国土交通省 九州地方整備局 港湾空港部
港湾空港防災・危機管理課長 小手川 勇
TEL:092-418-3375 FAX:092-418-3054

国土交通省 九州地方整備局 港湾空港部
海洋環境・技術課長 有江 浩一
TEL:092-418-3380 FAX:092-418-3032



20日(水) 7:20 大分港大在地区水深10m岸壁に着岸



荷下ろしの状況



支援物資は南阿蘇村、高森町へ



現地で搬入①



現地で搬入②



搬入した支援物資